

2019年度 第3回広報委員会 議事録

日 時 2019年9月5日(木) 13:00～17:30
 会 場 日本代協 会議室
 出席者 11名

(敬称略)

代協	委員名	代協	委員名	代協	委員名
沖縄	野原 早織	東京	大和 親英	高知	都築 弘典
宮城	小菅 淑人	富山	藤崎 康行	鹿児島	田中 拓
山梨	山下 一	大阪	諏訪 年信		

<担当副会長> 小平 高義 <事務局> 常務理事:小見 隆彦、特命部長:小出 鋭(記)

<オブザーブ> 新日本保険新聞社 金井次長
 V-HoPe 社 佐藤社長
 インプリメント社 木村社長

:委員長、 :副委員長

< 委員会での決定事項 >

- ・「みなさまの保険情報」1月号案を編集
- ・HPリニューアルに関し、全体骨格が決定
- ・PR 企画の今後の進め方を各代協へ再度案内

議 事

. 挨拶

1. 野原委員長挨拶

- ・前回の委員会から短い間隔での開催となるが、この間も direct 等を活用し、進捗状況を共有してきたことで着実にゴール地点に近づいてきたと実感している。
- ・HP リニューアルに関しては、本日がリリース前の最後の顔合わせであり、いよいよ骨格を決めなければならない。
- ・今年度の PR 企画についても、各代協の撮影スタートに際し、取組み方法を決定し、スピーディーに対応して参りたい。
- ・また、各地で台風・豪雨等の災害被害が出ており、今後も十分に注意しながら、地域密着で防災・減災に取り組んでいただきたい。
- ・今回も盛り沢山ではあるが、熱心な論議をお願いしたい。

2. 司会進行・議事録作成者の指名

- ・司会進行に諏訪副委員長、議事録作成者に事務局が指名された。

. 報告事項・情報共有事項

1. 報告事項

- (1) 理事会・臨時総会・ブロック長懇談会報告
- ・事務局より、配布した三冠王関連資料、日本代協ニュース、理事会議事録・ブロック長懇談会次第の内容に沿って説明が行われ、以下の補足をした。
- ・三冠王の8月末状況を説明し、7代協が1冠確定(仲間づくり推進5代協・代協体制整備2代協)と報告した。

- ・重点取組項目の出前講座と代協体制整備は、エビデンスの提出と日本代協事務局による適合検証によりカウントされることを徹底した。
- ・今年度1回目のブロック長懇談会を9/13開催予定で、事業計画推進にあたっての課題と対応をテーマに意見交換すると紹介した。

(2)2019年度第1回活力研

- ・事務局より、7/24開催の活力研について説明した。「今後の代理店経営を考える」をテーマに意見交換を行い、時間の関係で、今後の代理店のあり方に関しては次回継続論議となった。日本代協HPのインフォメーション(会員専用)に掲載済み議事録を配布した。

(3)前回委員会の振り返り

- ・前回の広報委員会の論議内容、決定事項等を議事録で確認した。

・審議事項

1.「みなさまの情報」保険の推進

(1)2020年1月号 企画案

- ・新日本保険新聞社の金井次長より、「みなさまの保険情報」2020年1月号の企画案が提示された。1面の保険業界のテーマについて、以下の3案が提示された。
自動車保険の型式別料率クラス変更について、火災保険の幅広い補償機能、消費増税が保険料に与える影響
- ・提案された3案から多数決にて のテーマに決定した。消費増税と保険料の関係について、税制面での情報を提供する内容とした。
- ・また、2面は当初の提案通り「受け取り方で変わる年金額」とした。
- ・3面は、労務・労災リスクに備えるシリーズとして、今回は「あなたの企業の労働時間は適切に管理されていますか」をテーマとし、不適切な時間管理によるリスクについて解説することとした。
- ・4面の健康に役立つトレーニングは、「体幹」を鍛えるストレッチを紹介。

(2)今後の推進

- ・10月号の購入状況を確認し、当面目標の購入率5%に対し、現状4.3%、必要会員数85店であることを共有した。
- ・諏訪副委員長より、近畿2府4県の「みなさまの保険情報」購入代協会員に新日本保険新聞社が「代理店登場」で取材した際に、「みなさまの保険情報」の活用事例や企画要望等の取材内容を提供いただき、推進策考案の参考にすると紹介があった。
- ・消費増税と過去の運送料金値上げ時の価格据え置き対応の影響による価格改定(単価・送料等)の説明があった。1月号分から新料金による対応となり、既購入会員へは今号発送時(9/20を予定)に案内文を同封する。

(お知らせチラシの執筆担当)

- ・1月号の執筆は諏訪副委員長が担当することとした(12/27原稿締切)。

(3)その他

- ・月1回各代協の取組を紹介する連載企画につき、改めて説明があり、原稿の作成・提出に関する留意事項を確認した。
- ・当初の案内文が会員の取組事例を紹介するような文面になっていた為、各代協の魅力を発信することが目的であることを共有した。

2.日本代協ホームページのリニューアル

- ・V-HoPe社より、本日の委員会で決定すべきことを説明した。

- ・まず、トップ画面のスライダーのデザインを選定した。その際、1枚は写真を随時交換できる機能を追加することとした。
- ・次にセカンドページのインデックス写真を選定した。
- ・セカンドページのメニュー表示方法について、スマホ・タブレット等で閲覧されることが多いと想定し、モーダルウィンドウ(メニューの名称変更や追加・削除も可能)を選択した。
- ・オープニングムービーの音楽と映像の構成を確認し、サウンドロゴは声のイメージが合わず、一旦保留とした。リニューアルをPRすることを目的に、リリース後3ヵ月程度の期間限定で公開し、消音設定やスキップ機能を搭載することとした。
- ・コンテンツ内容を再度精査し、修正箇所を明確にした。野原委員長より、各委員長へコンテンツ内容の確認と要望提出の依頼をすることとした。
- ・視覚的効果があるため、活用するイラストのデザインを選定した。
- ・書庫の仕様変更を検討したが、当初案で進めることとした。
- ・ユーザーのスムーズなアクセスが可能な導線設計やメタデータ(付帯情報)活用による集客力アップ、共通箇所のパーツ化による修正作業の軽減、サーバーの開発状況等を説明した。
- ・追加機能として、所定の事業活動報告の各代協からの寄稿や日本代協主催の会議(理事会・委員会等)の出欠報告兼旅費請求をHP上で処理するプランが提案され、検討することとした。
- ・今後のスケジュールを共有し、若干の遅れはあるものの10月末納品可との説明があった。

3. 2019年度PR企画

- ・インプリメント社より2018年度企画の8月末状況につき、総視聴回数154,251回・総再生時間387,021分と報告があり、依然高い水準で視聴されているとの説明があった。
- ・視聴者の属性としては、55歳以上の男性が多く、20～30代の層及び女性の比率アップが課題であることを共有した。視聴端末はスマホではなくPCが最多(45%)で、視聴年齢層が高いことにも関係していると補足した。
- ・次に、2019年度企画に関し、全体スケジュール・収録構成絵コンテ・リレー順・保険用語解説原稿・各代協アンケート・収録用台本等を説明し、意見交換を行った。
- ・リレー順は、東京代協を出発し、最終の日本代協へ全国が一筆書きで一周できるよう配置し、保険用語は普遍的なワードを選定し、連続性を持たせていると補足した。
- ・8/26第一走者の東京代協が収録を終えており、立ち会った大和副委員長より、当日の様態・気付きの報告があった。東京代協の映像をベースにしたサンプル動画を各代協に提供し、イメージを沸かせることとした。
- ・既に各ブロック・代協の撮影日程は決まりつつあるが、企画内容が十分伝わっていなかった為、各代協にサンプル動画と併せてアンケートを9/6に送付することとした(9/20提出期限で案内)。
- ・オプション2番組について概要説明があり、主な出演者である金子会長のスケジュール調整をすることとした。
- ・寄書き旗のデザインや公開後のリリーススケジュールは別途協議することとした。

閉会・その他

1. 情報提供

- ・事務局より、関東財務局による代理店ヒアリングに関して、代理店の選定条件・手順・アンケート項目等を説明した。当局の意向を直接確認できる貴重な機会であり、前向きに捉えることで組織強化に繋がると補足した。

- ・日本代協アカデミーID 登録数の直近状況を共有し、社員教育への活用とエビデンス提供の利点等があることから全募集人の登録を促した。
- ・「無保険車追放」「地震保険啓発・普及」のキャンペーンに使用するノベルティを配布し、所属代協での開催時における参加協力を要請した。
- ・2020 年度事業計画に対する提言を 11/15 提出期限で受付中(各代協単位で取り纏めて報告)であることを説明した。

2. 小平副会長閉会挨拶

- ・長時間の真剣な論議に感謝申し上げる。
- ・また、次の委員会開催までの間、direct フル活用により計画したことが着実に進展しており、direct の導入効果が顕著に表れている。
- ・本日は三つの大きなテーマについて論議いただいたが、取り分け HP リニューアルの 10 月末リリースに目処がつき、安堵している。
- ・委員の皆さんの陰の努力が実を結び、気持ちを新たにして会員の皆さんに提供できるデザイン・機能となっており、完成の暁には、皆で喜びを分かち合いたい。
- ・いよいよ本格始動した PR 企画に関しては、委員の皆さんには負担を掛けることとなるが、全国の会員及びその先にいる消費者のために価値ある作品が制作できることを期待している。

以上

次回開催日 2020 年 1 月 23 日(木) 13:00~17:00